

令和8年 3月 31日

新宿区長宛て

団体名 NPO法人 SAYi
所在地 東京都中央区勝どき4丁目4番2号503

(フリガナ) サトウ キヨタカ
代表者氏名 代表理事 佐藤 清貴

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

		記
1 収支計算額	収入	<u>419,169円</u>
	(内助成金)	<u>162,000円</u>
支出		<u>419,169円</u>

2 助成事業

事業名	性について語り合える場づくりプロジェクト
実施の日時又は期間	令和7年6月1日～令和8年3月31日
対象者の範囲及び人数	性に関する悩みや疑問を持つ方、性について安心して語り合える場を求める方などを対象とし、新宿区民を含む都内在住者を中心に参加を受け付けた。 参加者 延べ285名（うち区民191名）
事業内容	性に関する悩みや疑問について安心して語り合える場を提供することを目的に、対面交流会・オンライン交流会・個別相談を実施した。 各イベントの開催前に運営会議を行い、事業の精査を図った。
具体的な活動状況	【月次打ち合わせ（計9回）】 7月8日 新宿区内カフェ 8月5日 新宿区内カフェ 9月9日 新宿区内カフェ 10月7日 新宿区内カフェ 11月11日 新宿区内カフェ 12月3日 新宿区内カフェ

	1月13日 新宿区内カフェ 2月10日 新宿区内カフェ 3月10日 新宿区内カフェ 【対面交流会（計6回）】 7月29日 ルノアール 参加者数12名 8月26日 ルノアール 参加者数12名 9月30日 KS9新宿会議室 参加者数14名 10月24日 KS9新宿会議室 参加者数15名 11月29日 KS9新宿会議室 参加者数15名 12月26日 KS9新宿会議室 参加者数18名 参加者総数86名（うち区民58名） 【オンライン交流会（計10回）】 6月18日 Zoom開催 参加者数 13名 7月24日 Zoom開催 参加者数 15名 8月20日 Zoom開催 参加者数 18名 9月25日 Zoom開催 参加者数 20名 10月24日 Zoom開催 参加者数 15名 11月21日 Zoom開催 参加者数 10名 12月19日 Zoom開催 参加者数 16名 1月29日 Zoom開催 参加者数 11名 2月26日 Zoom開催 参加者数16名 3月26日 Zoom開催 参加者数 19名 参加者総数 153名（うち区民101名） 【個別相談（計46回）】 坂元弘美（理事）担当：計22回 8月3日、8月17日 9月7日、9月21日 10月5日、10月19日、10月26日 11月2日、11月16日、11月24日 12月7日、12月14日 1月18日、1月22日、1月25日 2月1日、2月15日、2月22日 3月1日、3月8日、3月15日、3月22日 小山千晴（理事）担当：計24回 8月10日 9月14日、9月28日 10月12日、10月16日、10月26日
--	--

	11月9日、11月17日、11月23日 12月7日、12月21日 1月18日、1月20日、1月25日、1月29日 2月8日、2月15日、2月22日 3月1日、3月5日、3月8日、3月15日、3月19日、3月22日 参加者総数 46名（うち区民32名） 相談場所：新宿区内カフェ等
事業の成果	300名近くのイベント参加者を迎えることができ、多くの方々にとって非常に関心のあるトピックであると再確認した。 本事業を通じて、性に関する悩みや疑問について安心して語り合える場を提供することができた。 交流会や相談を通じて、参加者が互いの経験や価値観を共有する機会が生まれ、性に関する理解やコミュニケーションの重要性についての認識を深めることにつながった。 また、オンライン交流会や情報発信により、これまで接点のなかった参加者層にも活動を周知することができ、継続的なコミュニティ形成の基盤づくりにも寄与した。 ・事業を通じて性に関するコミュニケーションの場づくりへの高い需要が明らかになり、NPO法人SAYiとして次年度以降も継続・発展させていく基盤を構築することができた。 ・両イベントとも満足度80%以上を達成し、参加者からの評価も高く、区民への普及啓発につながったと考える。

収支決算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	40,200 円	40,200 ルノアール新宿区役所横店 5,580円×2回 KS9新宿会議室 7,260円×4回
	②消耗品及び印刷費	0 円	0
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	0 円	専門家との連携調整に難航、今年度は理事による自主運営にて実施。次年度は外部専門家との連携を強化予定。
	⑤その他謝礼	0 円	0実現せず（理事のみで実施）
	⑥交通費	72,388 円	①対面会 スタッフ2名×6回 実費計 11,304円 ②個別相談 坂元22回・小山24回 実費計 44,128円 ③月次打合せ スタッフ2名×9回 実費計 16,956円
	⑦保険料	0 円	
	⑧その他諸経費	61,831 円	ZOOM Workplace Pro(年額サブスク契約25,841円) 会議用イベント用プロジェクター代 (35,990円)
	⑨感染症等対策経費	0 円	※上限20,000円
	⑩人件費	58,140 円	※下記「事業費」の25%以内 (58,140) ①理事 佐藤 清貴（事務全般、広報、SNS担当） →月3.5h×10か月×時給1250円=43,750円 ②理事 坂元 弘美（イベント予約、出欠管理、個別相談担当） →月2.5h×10か月×時給1250円+個別相談対応(1件2,500円×22件)=86,250円 ③理事 小山千晴（会計処理、個別相談担当等担当） →月1.5h×10か月×時給1250円+個別相談対応(1件2,500円×24件)=78,750円
	事業費（①から⑩の合計）	232,559 円	
	⑪ファンドレイジングに関する経費	11,628 円	※事業費の5%以内 (11,628) jimoty広告費上位表示オプション12000×3=36,000円 計36,000円のうち24,372円は助成対象外事業費へ
	⑫助成対象経費（事業費+⑪）	244,187 円	
	⑬助成対象外経費	174,982 円	人件費150,610円 ファンドレイジングに関する経費24,372円（助成対象外分）
事業総額		419,169 円	

内 容		予 算 額	積 算 根 拠（内 訳）			
収 入 区 分	㊦ 事業収入（参加料、資料代等）	252,000 円	対面交流会2000円×86人 個別相談5000円×16枠 ※全46枠のうち30枠は無償（モニター）で実施			
	㊧ 寄附金	0 円				
	㊦ 補助金収入	0 円	予算時		返還額	0
	㊧ 協働推進基金助成金	162,000 円	交付額	294,000	返還額	132,000
	㊦ 団体負担金	5,169 円				
	収入総額	419,169 円				

返 還 金	132,000 円	
-------	-----------	--

自己評価表

1 各項目に評価点を付し、「評価の理由」欄には、判断した理由や実績、課題等を記載してください。

【評価点】 4:計画書以上 3:概ね計画書どおり 2:一部計画書どおり 1:ほぼできなかった

評価のポイント	評価点	評価の理由
地域課題や社会的課題に対して成果や効果があったか。	4	本事業では、性に関する悩みや疑問について安心して語り合える場を提供することができた。対面交流会やオンライン交流会を通じて参加者同士の意見交換が生まれ、性に関する理解を深める機会となった。参加者アンケートでも満足度は概ね高く、社会的課題への理解促進に一定の効果があったと考える。
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	3	交流会を通じて、参加者が性に関するテーマについて主体的に考える機会を提供することができた。参加者からは「普段話しにくいテーマについて話せた」「他の人の考えを知ることができた」などの感想が寄せられ、社会課題への関心を高めるきっかけとなったと考える。
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	3	事業計画に基づき、対面交流会やオンライン交流会、個別相談などを実施することができた。実施内容については参加者の状況に応じて調整を行ったが、概ね計画に沿って事業を進めることができた。
実施にあたり、必要な人員や安全等の確保がなされたか。	3	イベント実施にあたっては、運営メンバーによる事前準備を行い、参加者が安心して参加できる環境づくりに努めた。対面イベントでは会場の安全確認を行い、オンラインイベントでは円滑な運営体制を整え、大きなトラブルなく事業を実施することができた。
経費見積りは適正だったか。資金確保に努めたか。	2	当初計画していた外部講師招聘や印刷広報は、参加者ニーズの把握を優先した結果、オンライン中心の低コスト運営に切り替えた。結果として経費を抑えながら事業目的を達成できたため、資金効率の観点では一定の成果があったと考える。次年度はより精度の高い見積りを行う。
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	4	本団体がこれまで取り組んできた性に関するコミュニケーションの場づくりの経験を活かし、対話を中心とした交流会を実施することができた。対面とオンラインを組み合わせることで、多様な参加者が関わりやすい活動とすることができた。

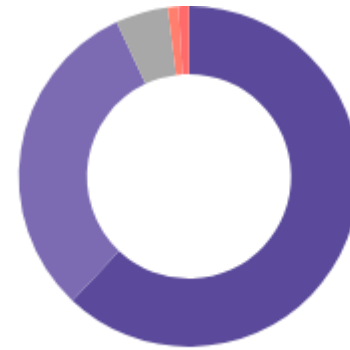
継続性や発展性が期待できるものとなったか。	4	約300名（区民約200名）非常の多くの参加者を迎えることができた本事業を通じて、性について安心して語り合える場へのニーズがあることを改めて確認することができた。参加者からも継続開催を希望する声があり、今後の活動の発展につながる取組となったと考える。
-----------------------	---	---

(裏面もご記入ください)

2 事業全体を振り返って気づいたこと等をお書きください。

事業を実施したことで見えてきた良かったこと、また課題や改善策。	本事業を通じて、性に関するテーマについて安心して話し合える場の必要性を改めて確認することができた。対面交流会やオンライン交流会では、参加者同士が率直に意見を共有し、多様な価値観や経験に触れる機会が生まれたことは大きな成果であった。 一方で、当初計画していた講師を招いた講習会の実施やポスター作製による広報については、運営体制や実施状況の都合から十分に実施することができず、主にオンラインでの呼びかけによる参加募集となった。今後は、事業内容や広報方法について実施可能性を踏まえた計画を立て、より効果的な事業運営につなげていきたい。
助成金を利用することで、団体や事業にとって有益となったこと。 （例：事業運営での気づきや工夫、解消された課題等）	本助成金を活用することで、会場費や運営費等の基盤を確保することができ、対面イベントや交流会を継続的に実施することが可能となった。また、助成事業として実施することで活動の信頼性が高まり、新たな参加者との接点を得ることにもつながった。 参加者の声や運営の経験を通じて、今後の活動の改善点や可能性を具体的に把握することができたことは、本事業における大きな成果であったと考える。今回得られた経験を活かし、今後の活動の発展につなげていきたい。

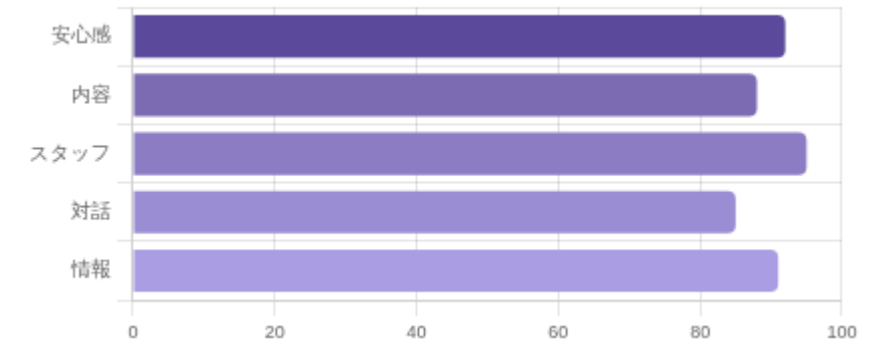
🕒 満足度分布



■ 非常に満足 ■ 満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満

● 非常に満足 62% ● 満足 31% ● どちらでもない 5%

📊 各項目評価



93%

満足度
↑ +5% from last year

92%

安心感
↑ +3% from last year

89%

意識変化
↑ +8% from last year

96%

地域必要度
↑ +2% from last year

※対象: 令和6年度参加者 87名

💡 意識・知識の変化



👥 孤立感・不安感の軽減



🔄 今後の継続参加意向



📍 地域（新宿区）における必要性

「必要である」との回答が96%に達し、高い地域ニーズが確認されました

“

同じ悩みを持つ人と話せて、自分だけじゃないとわかった。もっと早く参加すればよかった。

“

性について話せる場所がこんなに必要だったとは気づきませんでした。区にもこういう場所が必要だと実感しました。

“

相談員の方のお話がわかりやすく、夫婦の会話が変わりました。参加してよかったです。

“

Zoomでも参加できるので、子育て中でも安心して参加できました。毎回楽しみにしています。

対面トーク会 (月1回目標・新宿区内)

好意的な声

顔を見ながら話すことで、より深いところまで打ち明けられた。

同じ悩みを持つ人がこんなに身近にいることに驚いた。

運営の雰囲気が穏やかで、初めてでも緊張しなかった。

今後への声・課題

大勢の前で話すのはまだ少し恥ずかしい。小グループが嬉しい。

開催頻度をもっと増やしてほしい。

性教育など子ども向けテーマも取り上げてほしい。

Zoomトーク会 (月2回以上目標)

好意的な声

顔出し不要で参加できるので、初回でも気軽に入れた。

小さい子がいても自宅から参加できてありがたかった。

チャットで匿名質問できるのがよかった。

今後への声・課題

画面越しだと少し話しにくいテーマもある。工夫があると嬉しい。

後から見返せるよう、一部アーカイブ配信があるとよい。

テーマごとに性別・年代でグループを分けてほしい。

個別相談 (月10枠以上目標)

好意的な声

1対1なので、グループでは話せない深い悩みを打ち明けられた。

誰にも言えない悩みに関して、具体的なアドバイスをもらえて前向きになれた。

予約がスムーズで、相談しやすい仕組みだった。

今後への声・課題

予定があわないことがある。人数や枠数を増やしてほしい。

対面相談だけでなく、オンライン・電話相談もあると嬉しい。（顔を見て話すのに抵抗感がある）

相談後のフォローアップセッションがあると助かる。

今後取り上げてほしいテーマ (自由記述・複数回答上位)

セックスレス (24件)

子どもへの性教育 (19件)

フェムテック (15件)

パートナー関係・対話 (13件)

自己決定権・避妊 (11件)

LGBTQ+ (9件)

更年期・ホルモン (8件)

男性の性の悩み (7件)